

優しさが

大家族的经营につながら
気がつけば150年企業に

フジコーポレーション株式会社（新潟県燕市）

新潟に、サンタクロース村から公認された除雪機をつくる中
小企業があります。創業150年を超える老舗のものづくり
会社です。

昔から人に優しい大家族的经营で知られていて、高齢者、女性、
障がい者、外国人の方々が次々と集まっています。

多様な人材から生まれる可能性が、老舗の会社を支えています。

玄関に飾られた素敵な絵画の作者は？

上越新幹線の燕三条駅で下車して、そこから車で15分ほど走った、いまだのどかな
田園風景が残る裏通りに、農業機械等のものづくりを行うフジコーポレーションの
本社と工場があります。

玄関に入ると吹き抜けになっている天井の高いエントランスがあり、左手に5、6
名が座れるコーヒーコーナーがあります。

出迎えてくれた藤井大介社長が「まずはコーヒーを飲んでから、打合せ室に行きま
しょう」と、自らコーヒーをいれてくれました。

この場所は、来社された方がいきなり打合せ室で商談では……という配慮から、最
初のおもてなしの空間として活用しているといえます。

私は数年前に所用があつて同社を訪問した際、高い天井のエントランスの壁一面に、

額縁に入った絵がたくさん飾ってあるのに気がつきました。どれも、入ってくる人々の心や目を癒してくれる絵ばかりです。

藤井さんにお聞きすると、この絵は県内にある障がい者施設に通う、障がいがある方々が描いたものだそうです。

「この時期は国の障害者週間ということもあり、少しでも貢献できればと、施設から絵をお借りして展示しているのです。障がいをもつ方々に少しでも喜んでもらえれば、という気持ちなんですよ」と、藤井さんは言います。

私はふと思いついて、「障害者週間だけでなく、1年を通して展示してあげれば、みなさんもっと喜んでくれると思いますよ」とアドバイスしました。

以前、ある中小企業の経営者から聞いた話を思い出したからです。

その会社の近くには、重い障がいがある方々が通所する、障がい者のための就労・生活支援施設があり、そこには絵を描くことが大好きな障がい者の女性がいました。

もう何年も前から好きな絵を一心不乱で描き続けているのですが、そのうちに絵画がいつばいになり、収納するスペースがなくなってしまいました。

その話を聞いた中小企業の経営者は、その女性もつと絵を描き続けられるように、施設から定期的に絵画を借り受け、展示しているということでした。

藤井さんにその話をすると、「障がい者の方の中には、1年以上もかけて1つの絵を描きあげる人もいます。せかさないう、施設から依頼があったときはすぐに応じられるような体制を整え、先方にもお願いしてみます」と快く答えてくれました。

全社あげて障がい者施設からケーキを購入

フジイコーポレーションの、弱い立場にある人々への想いと行動はこれだけではありません。10年近く前から、3カ月に1回ですが、障がい者が就労している施設でつくっているケーキや焼き菓子のチラシを全社員に回覧して、社員たちで購入するよう販売の支援もしています。

障がい者施設で生産・販売されている商品には、いいものがたくさんあります。しかし施設の販売力の問題や市場の無知、誤解等の問題もあって、安定的な受注や販売

につながっていないのが実態です。

フジイコーポレーションは、その面で何か貢献できないかと社内で議論を重ね、まずは1年に3、4回、自分たちが率先して購入しようと考えたのです。

社員が予約したケーキ類は、施設で箱に詰め、障がい者が職員と同行して同社に届けてくれることもあります。そのとき廊下でフジイコーポレーションの社員に会うとはじけるような笑顔で「いつもご購入いただき、ありがとうございます」と挨拶するそうです。

最近ではケーキだけでなく、別の施設でつくっている焼き菓子やトイレトペーパーも購入しているそうです。

以前、「1回の注文金額はどれくらいになるのですか」と尋ねると、藤井さんは「平均すると3万円くらいでしょうか」と答えてくれました。フジイコーポレーションの社員数は約140名ですから、社員1人当たりだと年間1000円前後になります。障がい者の就労支援施設のB型（雇用契約を結ばず働く施設のこと、給料ではなく工賃が支払われる。なおA型は雇用契約を結び、最低賃金を保障している）といわ

れる施設では、1カ月当たりの給料（工賃）は毎年少しずつ上がってきているとはいうものの、それでも全国平均でわずか1万5000円前後です。フジイコーポレーションの社員のみなさんは、この実情を察して、意識的に大量の商品を購入しているのでしょう。

ちなみに同社の社員は、打ち合わせや営業で、全国各地のさまざまな会社に出張しますが、その際も、地域の障がい者施設で生産、販売されているものをお土産として持参しているそうです。フジイコーポレーションの社員みんなが、優しい心の持ち主であり、それが社風になっていいる会社であることがよくわかります。

厚生労働省の資料を見ると、該当企業（社員数45・5人以上）で障がい者の法定雇用率（2・2%）を守っていない企業は約55%もあります。ましてや障がい者施設から定期的に仕入れたり、発注している企業はまだまだ少数派です。

フジイコーポレーションでは、法定雇用率以上の雇用を行う一方、さまざまな事情で一般企業には通勤できず、就労支援施設で働かざるを得ない障がい者の方々に、間接的に就労の場を提供しているのです。